

インポート手順

平素は QSTARZ の商品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

インポートについて、ご案内いたします。

弊社のホームページから圧縮された (ZIP) ファイルをダウンロードします。圧縮されたファイルには (.BIN) ファイルと (.BCN) ファイルがあります (コースデータによって、異なる場合もあります)。ダウンロードが完了しますと、下記手順を参照し、コースデータのインポートを実施してください。本手順は以下の内容が含まれています：

- 1、 コースデータ (.BIN) ファイルを LT-Q6000 へ書き込むについて
- 2、 コースデータ (.BCN) ファイルを QRacing ソフトウェアにインポートするについて

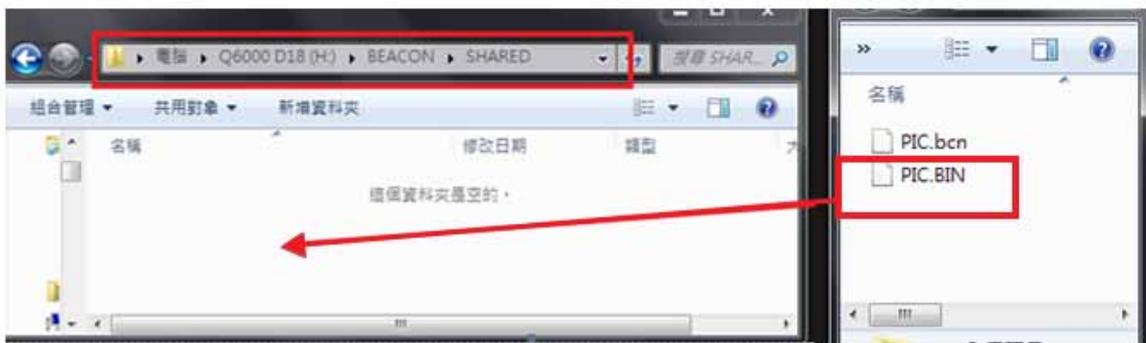
ファイル拡張子の説明

- (.BIN) ファイル：LT-6000 で使われるファイル形式です。
- (.BCN) ファイル：QRacing ソフトウェアで使われるコース情報を記録するファイル形式です。QRacing にインポートすると、区間の設定、名前の設定などができます。

1、コースデータをインポートします

ステップ1、LT-Q6000 を USB ケーブルでパソコンにつなぎ、LT-Q6000 が動作していることと画面に「USB ACCESS MODE」が表示されていることを両方確認してください。

ステップ2、解凍された PIC.BIN ファイルは以下の場所に入れてください。
C:\Q6000\BEACON\SHARED



ステップ3、LT-Q6000 を起動してください。

ステップ4、メイン画面の中での「サーキットレース」を選択してください。



ステップ5、セッションタイプは「スプリングタイム」であることを確認してください



ステップ6、「通し番号」から、「ロード(既存トラック)」を選択し、読み込んだコースの名前を選択してください。

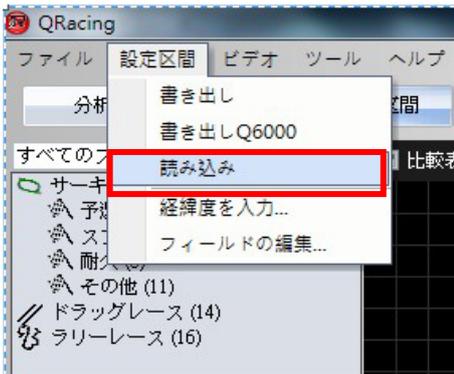


ステップ7、選択が完了すると、LT-Q6000 にコースはご利用いただけます。

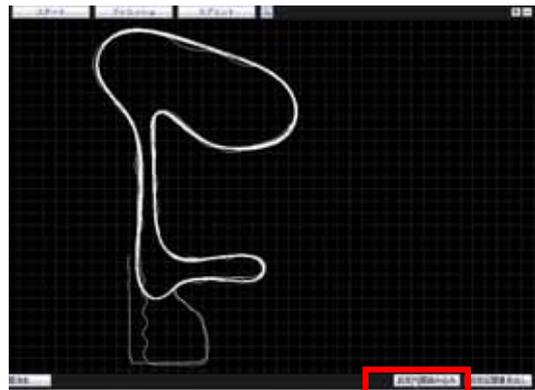
2、コースデータ、(.BCN) ファイルを QRacing ソフトに読み込ませます

2.1 コースデータを読み込みます

ステップ1、ツールバーにある「設定区間」(図一)から「読み込み」を選択するか、もしくは、設定区間画面の右下にある「設定区間読み込み」をクリックしてください(図二)。

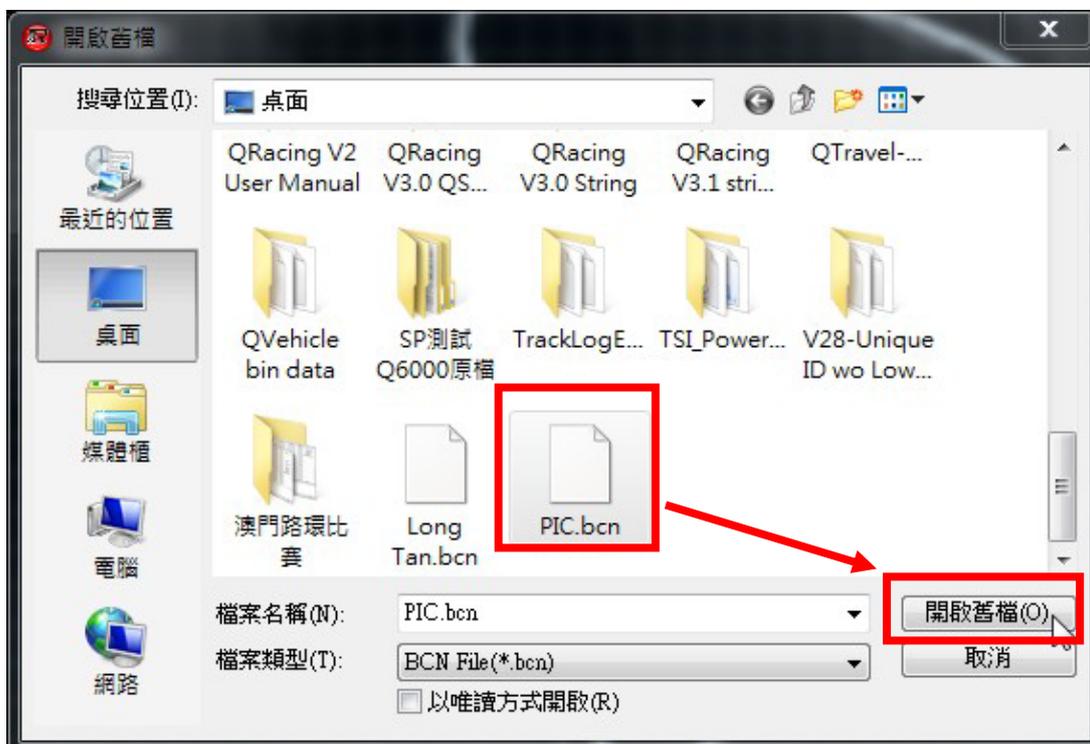


(図一)

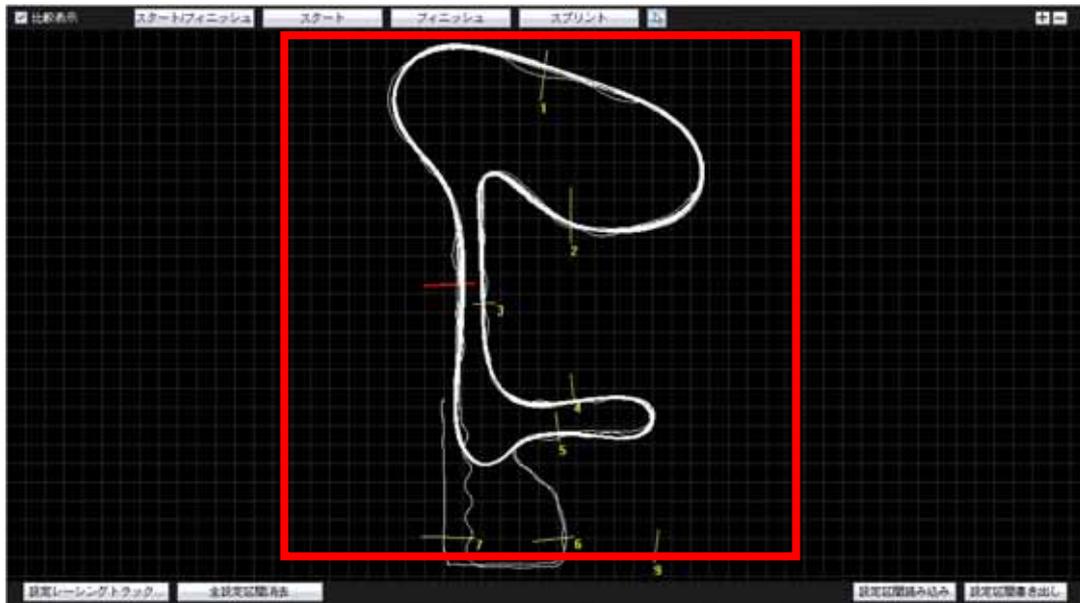


(図二)

ステップ2、読み込むコースデータの(.BIN)ファイルを選択し、「開く」をクリックしてください。



ステップ3、読み込み完了後に、コースデータは自動的にコースと同期します。
ただし、あらかじめ該当コースの軌跡記録が入っていることが前提です。

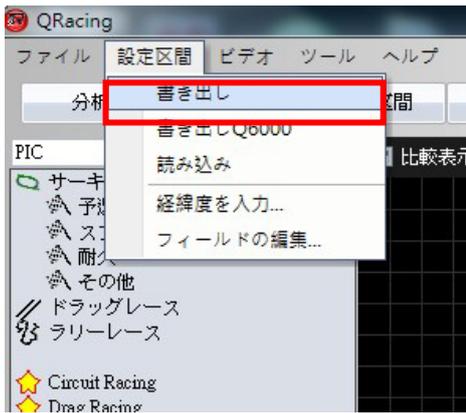


2.2 QRacing はコースデータの調整にも対応しています（例えば、スタート/ゴール点、区間などの設定）

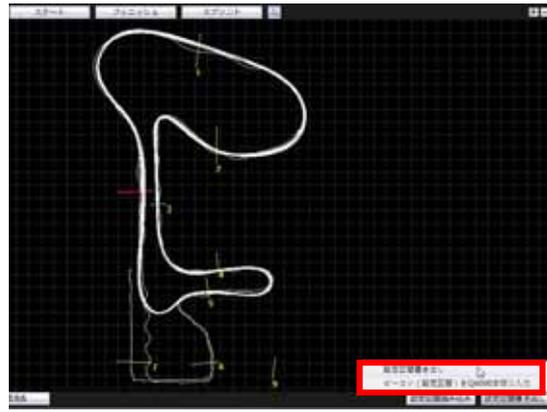
詳細は QRacing マニュアルをご参照ください。

2.3 コースデータを出力します(スタート/ゴール点、区間の設定)：

ステップ 1、スタート/ゴール点と区間の設定完了後に、ツールバーにある「設定区間」から「書き出し」をクリックするか（図三） もしくは、設定区間画面の右下にある「設定区間書き出し」（図四）をクリックしてください。

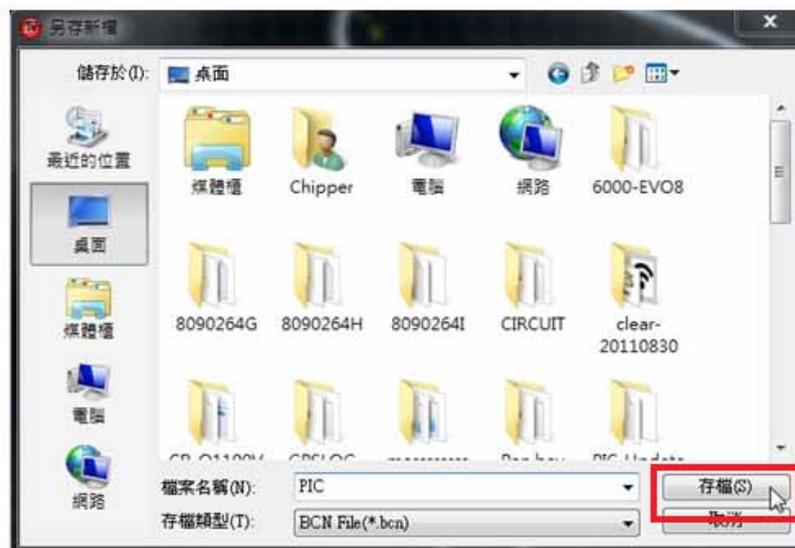


(図三)



(図四)

ステップ2 コースデータである (.BCN) ファイルを選択し、保存場所とファイル名を指定し、「保存」ボタンをクリック。(.BCN) ファイルの出力が完成します。

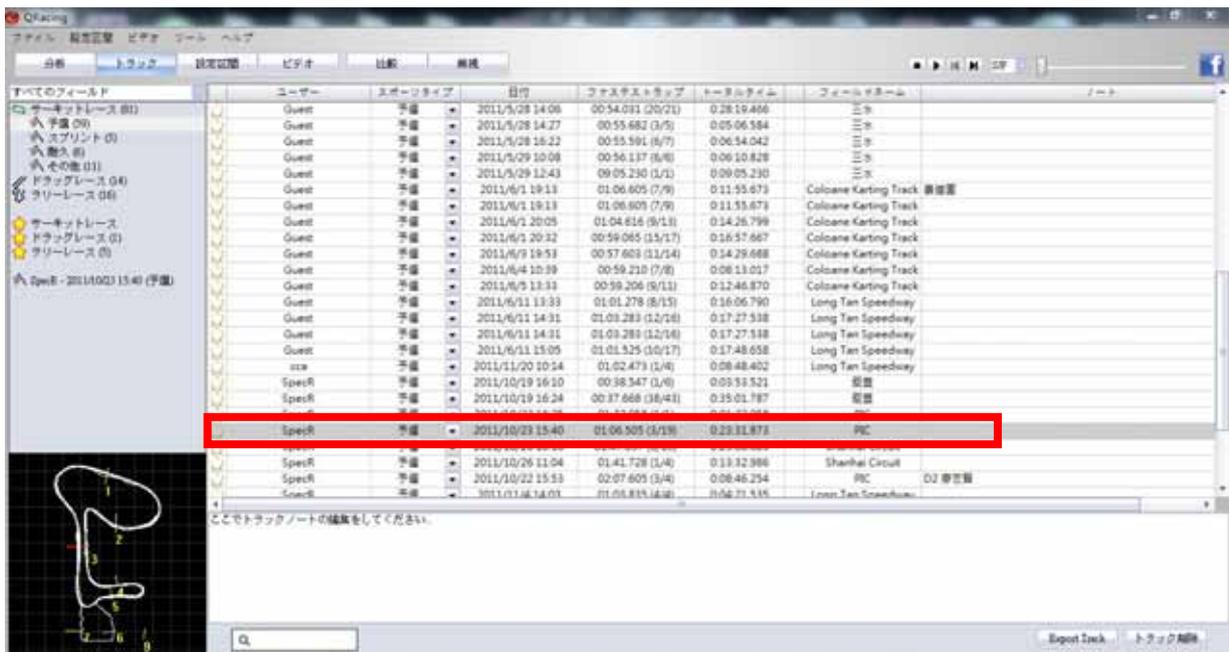


2.3 設定区間を LT Q6000 に出力します

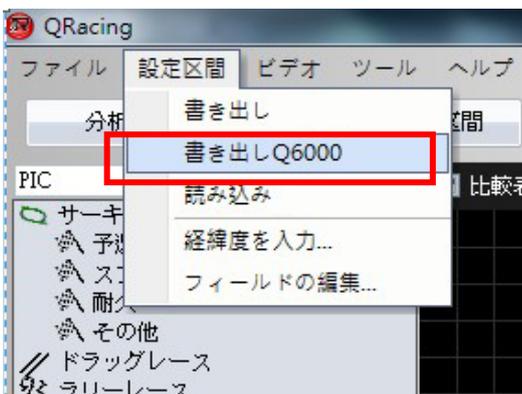
ステップ1、LT-Q6000 を USB ケーブルでパソコンにつなぎ、LT-Q6000 が動作していることと画面に「USB ACCESS MODE」が表示されることを両方確認してください。

ステップ2、QRacing に出力したいコースを選択してください。

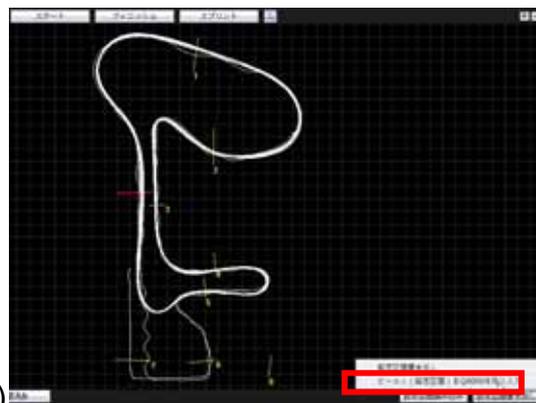
注：LT-Q6000 は自動的に「コース名」を「フィールドネーム」と同期します。



ステップ3、スタート/ゴール点と区間の設定が完成すると、ツールバーにある「設定区間」から「書き出し Q6000」をクリックするか（図五）もしくは、設定区間画面の右下にある「ピーコン設定区間を Q6000 本体に入力」（図六）をクリックしてください。

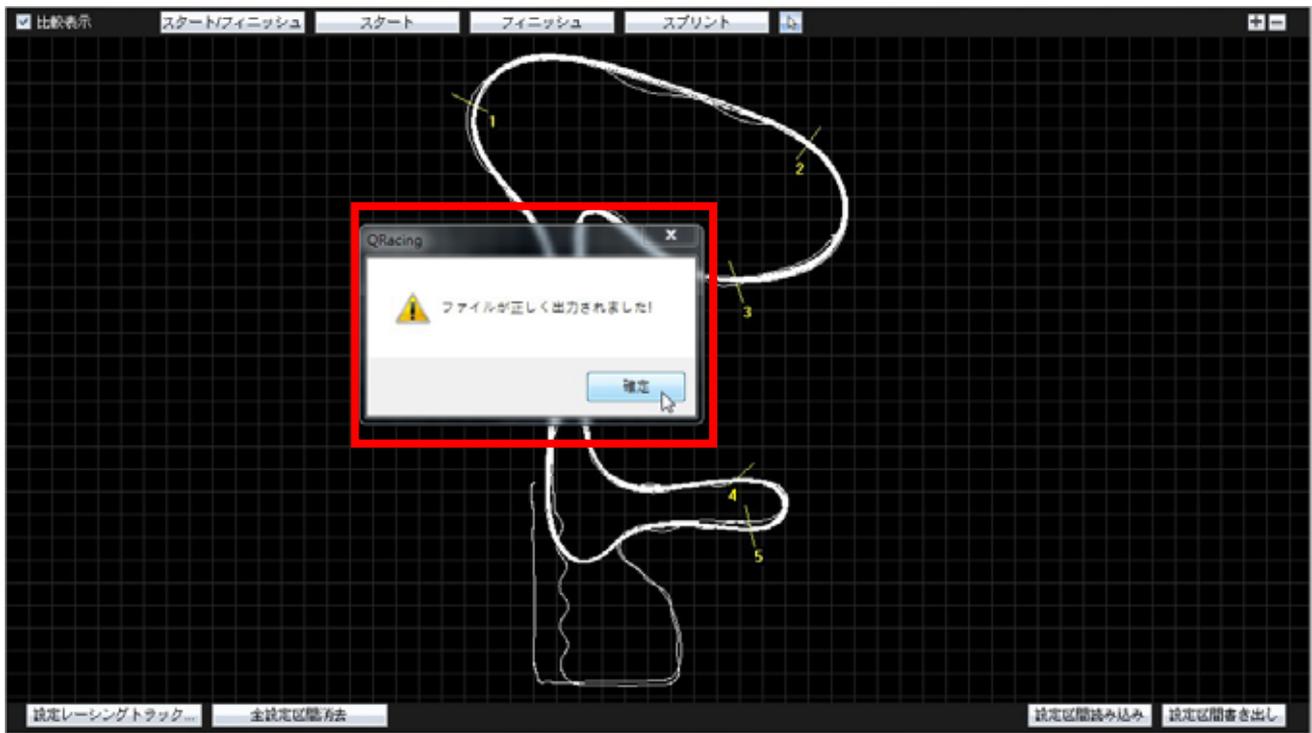


(図五)



(図六)

ステップ4、画面に「ファイルが正しく出力されました」メッセージが表示し、LT-Q6000 への出力が完成します。



出力されたファイルはLT Q6000にあるBEACON/SHAREDファイルに保存されます。BCN(X)の順位で名前がつけられます。LT Q6000には「サーキットレース」を選択し、「スプリングタイム」を選択し、「ロード(既存トラック)」をクリックして、読み込んだデータが確認されます。

